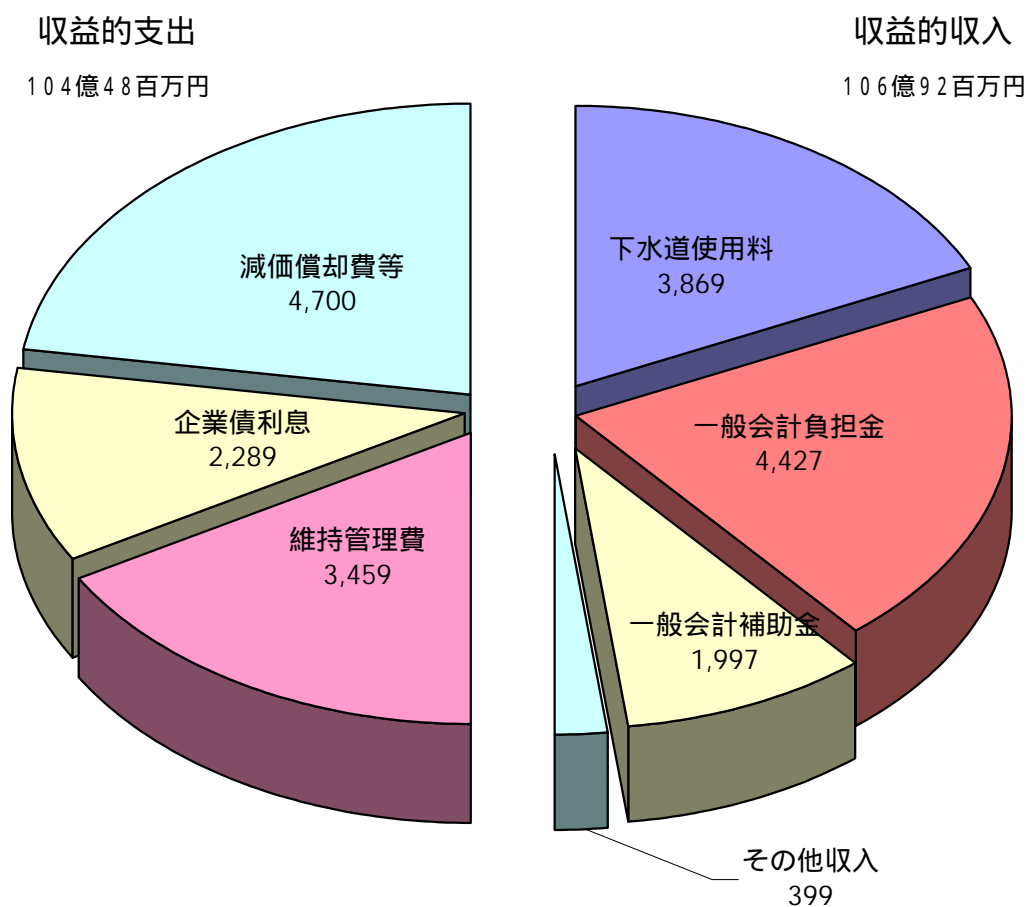


平成23年度下水道事業会計予算概要

1. 管理運営に関する取引(収益的収支)

税込み、単位:百万円



収益的収支は、経常的な事業活動に伴って発生する収益と費用の収支状況をあらわします。

主なものは下水管渠・ポンプ場・処理場の維持管理費や減価償却費、施設建設のために借り入れた企業債の支払利息などです。(減価償却費と企業債支払利息を併せて資本費といいます。)

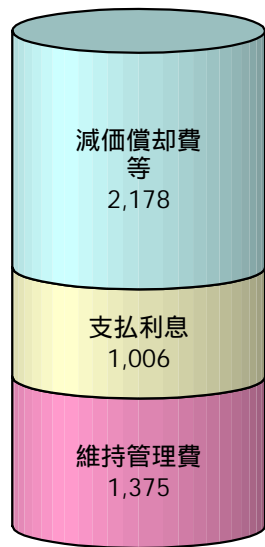
これらの経費のうち、自然現象である雨水の分は「一般会計負担金(税金)」で、家庭や事務所などから排出される汚水の分は使用者からの「下水道使用料」で負担いただくことを基本としています。

しかし、現在、汚水の処理経費は「下水道使用料」ですべてをまかなうことができないため、不足分については一般会計補助金で補っています。

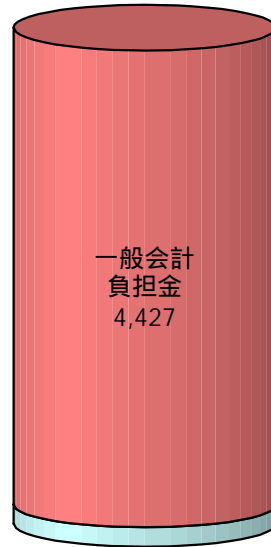
収益的収支予算を雨水分、汚水分に分けて示すと以下のようになります。

汚水、雨水別の予算概要(収益的収支)

雨水

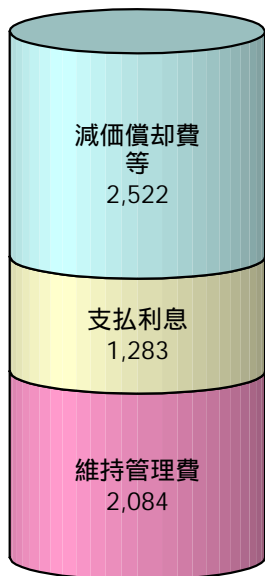


支出(45億59百万円)

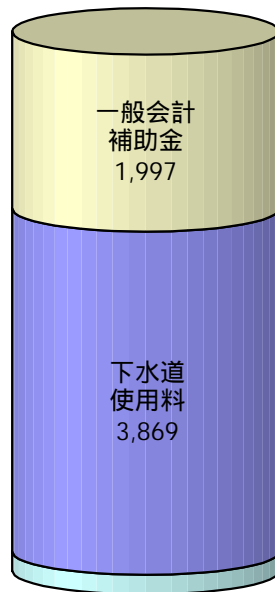


収入(46億06百万円)

汚水



支出(58億89百万円)



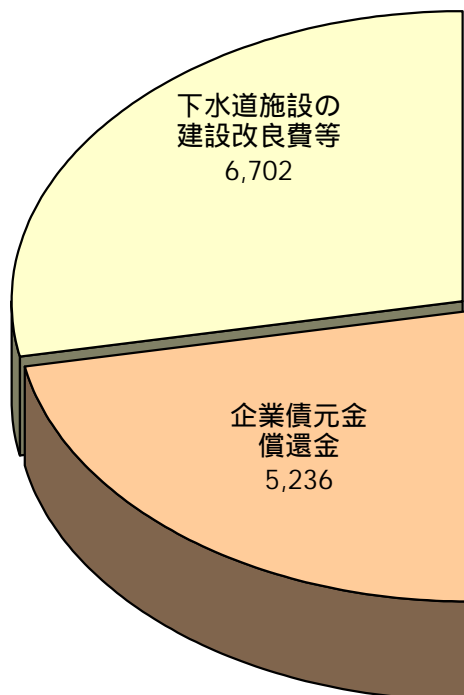
収入(60億86百万円)

2. 建設(資産形成)に関する取引(資本的収支)

税込み、単位:百万円

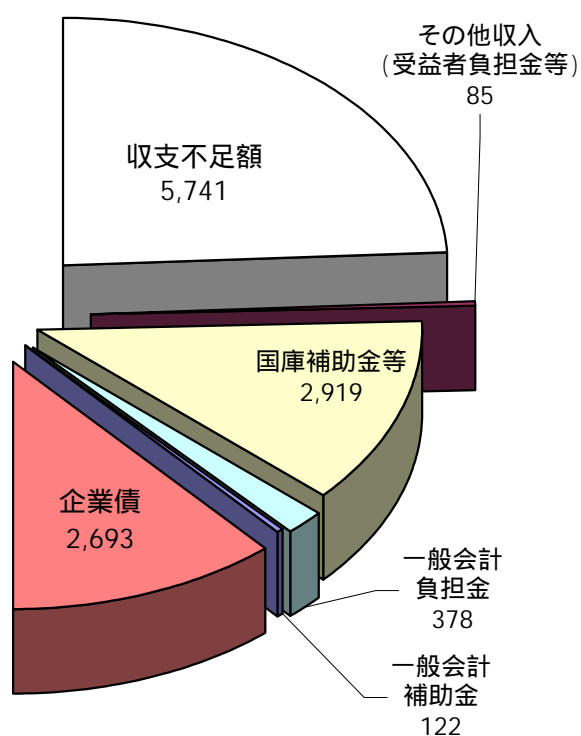
資本的支出

119億38百万円



資本的収入

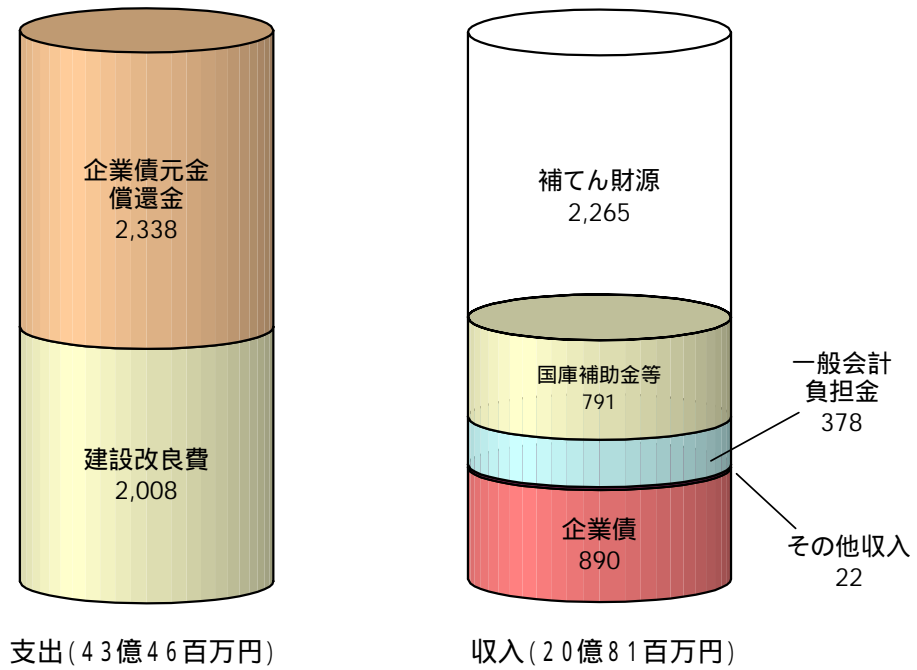
61億97百万円



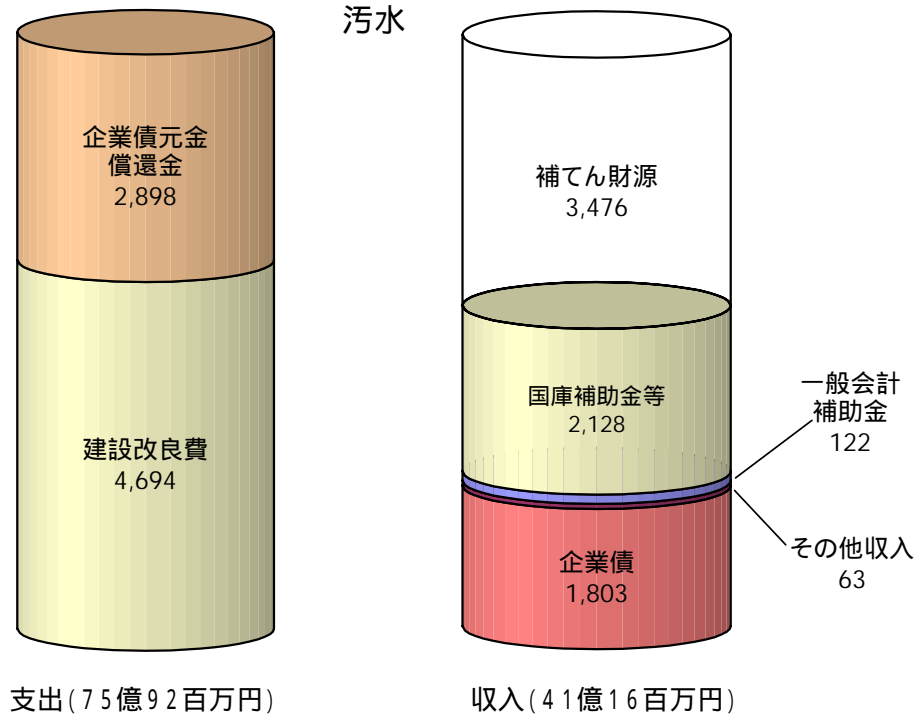
資本的収支は、下水道施設の整備(資産形成)を進めるための投資額(建設改良費)とその財源、企業債元金償還金の収支状況をあらわします。
資本的収支予算を雨水、汚水別にあらわすと以下ようになります。

雨水、汚水別の予算概要(資本的収支)

雨水



汚水



補てん財源とは、収益的支出に計上されている減価償却費等の現金支出を伴わない費用に見合う収入などをいいます。